

お口の 健康情報室

歯や歯周組織に異常が見られないにもかかわらず、歯に痛みを感じる状態を「非歯源性歯痛」といいます。歯の痛みを訴えて受診した人の約3%が該当すると言われています。

「日本口腔顔面痛学会」のガイドライン（指針）では、原因を①食べ物をかむ時に使う顎などの筋肉や首の筋肉と、②これらを覆う筋膜が痛む「筋・筋膜性痛」③三叉神経

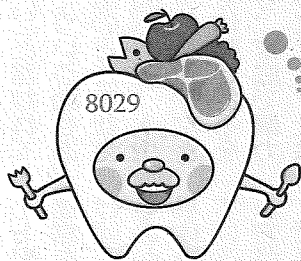
歯の痛み 早めの受診を

痛や带状疱疹^{はうしん}などにより、神経が傷ついたり圧迫されたりして痛む「神経障害性痛」③頭痛から起こる「神経血管性歯痛」——などの八つに分類しています。歯の痛みというと、歯が原因だと思いがちですが、带状疱疹や心筋梗塞^{しんせきそう}などが原因であれば、その治療を行わないといけません。

診断するにはまず、虫歯や歯周病などがないか調べます。ない場合は、八つの原因にあてはまる症状がないか問診や触診、CT（コンピュータ断層撮影装置）、MRI（磁気共鳴画像）などの検査で鑑別します。

早期に原因を見つけ、治療につなげるためにも、歯の痛みを感じたら、早めに歯科医院を受診しましょう。非歯源性歯痛が疑われる場合は、大学病院などを紹介してもらってください。

（千葉県歯科医師会）



「8029運動」PRキ
ャラクター もぐい